



# 志津南

## 12月号 news

志津南ホームページ  
https://shizu373.net

志津南学区の人口 (10/31 現在)  
世帯数 2,556 総人口 6,751 人  
前月より + 30 人

発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-563-6206  
E-mail shizu373@machikyou.jp

### 内容充実の第2回子どもフェスタ

### 天候に恵まれ笑顔はじける

ふれあい推進委員会(馬場正尚委員長)は10月27日、ロクハ公園スポーツ広場で志津南学区「ふれあいまつり」第2回子どもフェスタを開催しました。天候が心配されましたが、暑いぐらいの晴天に恵まれ、会場はおよそ1800人も参加者で賑わいました。

GINLALA (両端) さんの司会でステージが進行



イベントは、馬場委員長の開会宣言と、四方道治志津南まちづくり協議会会長のあいさつで始まりました。音楽ユニットGINLALAさんの軽快な司会と、元気いっぱいこの歌のステージで、会場は徐々に盛り上がりしてきました。



キッチンカーにも多くの人の列

橋川渉草津市長もかけつけてくださり、祝辞をいただきました。今年、市危機管理課や消防団、やすらぎ学級など、昨年度よりさらに参加団体が増え会場にはとろく狭しと、様々なテントが並びました。また、立

### 新たな組織体制で負担軽減へ

志津南学区まちづくり協議会(四方道治会長)は11月2日、まちづくりセンターで臨時理事会を開催しました。前回決定された負担軽減第2弾の方針を具体化した、新たなまち協組織案を審議し、全会一致で承認しました。

新しい組織では、4つの専門委員会(環境美化、交通防犯、ふれあい推進、青少年育成)の組織体制が大きく刷新されます。「環境美化」と「交通防犯」は、まち協本部直轄とし、町内委員の負担軽減、複数年視点の運営、学区全体課題への対応強化を図ります。まち協正副会長と公募による事務局が運営にあたり、町内委員と連携します。「ふれあい推進」と「青少年

育成」は、全ての委員を公募による人材で構成します。「やれる人がやる」という考え方に基づく組織へと刷新します。今後は令和7年度へ向け、事業内容検討や公募人材の選任など、年度内に体制構築を進めていきます。各町内会(自治会)の令和7年度の役員体制は既存体制を継続。令和8年度へ向け、新組織に対応した役員体制への移行を検討します。

命館大学生のお手伝いや、高穂中学校生徒会がダンスやO×Kイスのステージを繰り広げるなど、若い力の参加がとて心強いものでした。

パインあめのつかみ取りや、草津市公認マスコットキャラクターのたび丸くんのじゃんけん大会、チャレンジコーナー等

### コージীগーデン秋祭り

コージীগーデン自治会(大嶽竜介会長)は11月10日、自治会館や公園を会場に、初めての秋祭りを開催しました。300人ほどが参加し、特に親子連れの幼い子ども達がたくさんで、大変賑やかでした。

会場には飲食コーナーや遊びコーナーを設けました。中でも綿菓子では自分で作ることができたので、順番を待つ時間もありましたが、みんな楽しそうでした。ボランティア隊の「草津市環境こだわり米」の試食おにぎりもおいしいと、好評でした。ラストは「大じゃんけん大会」と「景品会」を行いました。大人も子どもも夢中になり、笑顔と活気が溢れていました。

### 楽しそうな子ども達の輪



こうした機会に、近所の住民同士が親睦を深め、災害時などに協力し助け合える関係性を築くことができたいと思います。

### 恒例「しづみにナリエ」

志津南アンサンブルパワー(藤原忍代表)は、若草環境パワーの協力で、年末恒例「しづみにナリエ」を開催します。

25日(水)  
時刻 17時15分〜20時  
場所 志津南まちづくりセンター(玄関前付近)  
夜間、センターは閉館しています。子どもには、必ず保護者が付き添ってください。



# 初めての企画盛りだくさん

★プレ開催を含め、3回目となった「子どもフェスタ」初めての企画もたくさんあり、充実の開催となりました。

## シャボン玉大好評

みんなで一緒に大きなシャボン玉を飛ばしたい！

園芸用の支柱にアクリル紐をドラえもんポケットの形にくくりつけた道具を10セット用意しました。シャボン液は、草津市在住のシャボン玉おじさんの鮫江作弘さん特製の液を準備しました。さすがはプロのシャボン液。自分の体よりも大きな輪や、笑顔の輪がいっぱい膨らみました。



会場にふわりふわりシャボン玉



## 消防車が来た！

会場に駆け付けた、大きな赤い消防車がひととき目をひきました。子ども達は目を輝かせて運転席にすわったり、子ども用の防火着や制服を着て写真撮影をしたり、約200人が

## 大人気の射的

射的は、小さい子から高学年まで対象年齢が広く433人が挑戦し大人気でした。写真。



盛り上げ上手の担当スタッフの声掛けや拍手で大いに盛り上がりました。たくさんの子どもの笑顔があっただけで、スタッフからも「やって良かった」「地域の人達との輪が広がった」などの声がありました。

## 「できた」の笑顔

立命館大学「ルートキャリア」は、会場ボランティアとして参



カラフルなバルーンアート

加。バルーンアートはじめ、随所でお手伝いいただきました。参加メンバーは、志津南の子ども達と関わり、「できた」がたくさん見られたことが、とても嬉しかったと笑顔でした。

## 思い出になれば

志津南小学校PTAは、「スパーボールすくい」を担当しました。子ども達が、持ちきれ



あのキラキラボールを狙って

# HAPPY HALLOWEEN

最近「ハロウィン」もすっかり市民権を得たようです。今年もあちこちで「トリックオアトリート！」

## ふれあい広場 わくわくハロウィン



楽しい時間を過ごす参加者

かがやきの丘「ふれあい広場」(堂本直美代表)は10月30日、町内会館「きらり」でハロウィンパーティーを開催しました。

ないほど多くのボールをすくってみせたり、欲しいキラキラボールを狙って集中したりして、笑顔いっぱい楽しんでくれたことに、微笑ましく、嬉しく思いました。



興味深々「何が出るかな」

保護者もふくめ50人ほどが集まりました。ミニバスケットやダーツゲームをしたり、真剣な表情で難しいクイズにも挑戦、最後は恐いハロウィンの館をまわりミッション達成。楽しい時間を過ごしました。

若草・岡本西子ども会 マジックショー楽しむ  
若草・岡本西子ども会(刈底友香会長)は11月2日、志津南まちづくりセンターで秋のイベント会を行いました。

雨で足元が悪い中でしたが、46人の子ども達が元気集ってくれました。ハロウィンが終わってすぐの日程だったので、かわいい仮装姿で来てくれた子どもが集まりました。それぞれ思い思いに衣装し、紙皿でかぼちゃ・コウモリ等、アイデア満載のお菓子入れバッグを作りました。

## 若草文庫 紙皿でオリジナルバッグ



アイデア満載の手作りバッグ

今回は「草津迷術会」の方がボランティアとしてマジックショーをしてくださいました。マジックの準備道具が色々置いてあるのを見て、最初から興味津々な子ども達。次々と繰り出されるマジックに真剣な様子で見入っていました。

「今月の志津南文庫」は紙面の都合で休載します。



# 店で働く人の工夫たくさん発見



初めて入った店のバックヤード

の話をしていたとき、その後バックヤード見学のクラスと、班ごとに店内見学のクラスに分かれて、ローテーションで交代しながら活動しました。バックヤードでは、通常では見られない店の裏側を見学し、

## 琵琶湖と触れ合った二日間

志津南小学校五年生が、10月28〜29日と30〜31日の二航海に

### 船の甲板から多景島を展望



分かれて、フロートインクスクルに参加しました。一泊二日の航海で、それぞれ治田西小学校、葉山東小学校と同船し、活動を進めました。

一日目は、甲板で琵琶湖大橋を下から見上げたり、多景島を

商品を準備する部屋が幾つもあることや商品の陳列方法の良い例、悪い例が示してある等の発見がありました。店内見学では、食品の種類ごとに分けて見やすく並べられている点や、高い位置に見やすく商品の種類の表示がしてあること等を発見しました。

## クマさんと楽しく交通安全

緑波くるみこども園(服部登志夫園長)は10月17日、草津東交通安全協会志津南支部による「交通安全教室」を開催、132人が参加しました。

はじめに動画を見ながら、道路の渡り方や狭い道の安全な歩

### 渡り方を教わる園児達



「子どもを見たらまず徐行」子ども達の学びに心えられるよう、私たち大人も安全運転を心がけたいものです。



## 食品群分類学び健康に

展望したりしました。長浜港周辺の街並みを班ごとにウォークラリー形式で散策もしました。学習船「うみのこ」の夕べの時間では、学校紹介の動画を見たり、ポッチャ大会を行ったりと、同船した小学校との交流を

志津南学区健康推進員連絡協議会(田井和子代表)は10月29日、志津南まちづくりセンターで「大人の健康料理講習」を開催しました。写真。参加者12人は栄養バランスを整えるための三色食品群分類について学んだ後、各班に分かれて「鮭と人参のしりしり」「めかぶとコーンのスープ」など減塩料理に挑戦。栄養バランスもよく、素材の味を活かした料理に大満足でした。

## フレイル予防講習会

### 説明に耳を傾ける参加者



追分南町内会元氣クラブ(隅野義次・三谷輝男・高田稔共同代表)は10月13日、追分南会館で健康の方々による高齢者フレイル予防の講座を行いました。

深めました。二日目は、琵琶湖の水の透視度調査やヨシの活用、水中のプランクトン観察等にも取り組み、「湖上の学校」ならではの学習に、興味津々の様子でした。湖上から見る景色に驚きと感

## こんな時は救急車



フレイル予防には、低栄養に陥らない正しい食事、運動機能を維持する適度な運動、生活習慣の改善と積極的な社会参加の三つの要素が重要であることなどを学びました。

かがやきの丘地域サロン「なごみ会」(浅野謙一代表)は10月20日、町内会館「きらり」で、あさの内科クリニック浅野信行院長を講師に、健康講座を開催しました。写真。テーマは「高齢者が注意すべき内科疾患」。心筋梗塞・脳梗塞などの初期症状をわかりやすく説明していただき、これらの症状が出たら、迷わず救急車を呼んで一刻も早く病院へ行くようにと教わりました。

庭に咲いたかわいいピンクのペゴニアです。色エンピツで初めて書きました。



花びらの淡い色を表すのが、とても難しかったです。

(く)くしの会



### 津市芸濃地区民児協と交流



意見交換を行う両民児協委員たち

志津南学区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)は10月21日、まちづくりセンターで、三重県津市芸濃地区民児協との交流会を開催しました。

両地域は大きく環境が異なるため、組織や日々の活動方法などが違いますが、子どもたちや高齢者の見守り活動など共通点も多くあり、貴重な意見交換ができました。また小学校での出前授業などは、当学区では経験がなく興味深い話でした。

志津南まちづくりセンターは、10月30日、第5回やすらぎ学級「お話を聞こう」を実施しました。一般参加を含め総勢37人が参加しました。

44年の活動を続ける「草津おはなし研究会」のメンバー4人を招き、滋賀の民話や「こぶとりじいさん」「鉢かつぎ」などの昔話を聞きました。

### 語りに聞き入る参加者



## やすらぎ学級 皆でいい時間

聞き手を引きつける話しぶりで、紙芝居や巻絵を通して繰り広げられる話の世界に引き込まれ、あっとい間時間を過ごすことができました。

### プレーを楽しむ学級生



11月6日、第6回やすらぎ学級は草津市公用バスを利用してマキノ高原へ出かけました。

学級生20人は、マキノ高原でのグラウンドゴルフやメタセコ



早川氏(左)と三谷氏(右) 当日大辻氏は欠席

**社会福祉功労者表彰**

草津市社会福祉功労者表彰式が11月9日、草津市役所で開催され、当学区からは元気くらぶ(三谷輝男代表)・若草一味クラブ(早川将代表)・志津南いきいきクラブ(大辻春江代表)が、草津市社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。



### 芝桜の苗配布

イア並木散策を楽しみました。琵琶湖畔での昼食時は、目の前に広がる風景に感嘆し、帰路は「道の駅藤樹の里あどがわ」

で地域の物産に触れました。館外で普段とは違う景色の中、少し頑張って歩き、学級生同士の交流を楽しみました。

志津南芝桜プロジェクト(大橋稔代表)は、11月11・12日、地域の希望者に芝桜の苗を配布しました。写真。

同会は、芝桜植栽をまちに広げ、住民同士のつながり作りを促進しようとする「ひと・まち・芝桜もキラリ!」と名付けたプロジェクトを推進しており、各ご家庭で育てていただき、まちに芝桜の輪をもっと広げていただこうとの試みです。

苗を受け取った人は「大切に育てます」と、皆笑顔でした。

### 福祉セミナー

学区社協は次の要領で、第二回福祉セミナーを開催します。

- ▽日時 12月14日(土) 14時~15時30分
- ▽場所 志津南まちづくりセンター 大会議室
- ▽演題 「子どもたちの育ちつらさ」とこれからのまちづくり
- ▽講師 中島みちるさん(楽育のたね主宰)
- ▽パソコンの駅
- ▽パソコンについての相談
- ▽12月24日(火)
- ▽1月25日(土)
- 13時~16時



たくさんの人で賑わう会場

今年もバザーの日に合わせ町内のM氏から丹精込め育てた菊が届けられ、大輪の菊や懸崖菊が迎える喫茶コーナーで買い物を終えた皆さんが、もみじ饅頭を添えたコーヒを飲みながら和やかに歓談されていました。

初めての試みとして市社協に協賛し、フードドライブ(食料を必要とする人々に寄付するため食材を集める活動)コーナーと赤い羽根募金を共催しました。フードドライブのコンテナにはお米、乾物、粉もの、ジュースなどの食料品をたくさん提供していただきました。

皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。



### 「絆」チャリティバザー

ふれあいハウス「絆」は11月10日、第11回チャリティバザーを隣接の若草6丁目児童遊園で開催しました。

工事車両や足場など、ご利用の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、これからも長く地域の皆様に親しまれるセンターとして維持管理に努めます。

「この帽子似合うかしら?」「ほいお茶碗が見つかりました」「お安くなるかしら」とスタッフと和やかなやり取りも楽しそうでした。

香ばしく炒りたてのポップコーンコーナーが大人気でした。

今年もバザーの日に合わせ町内のM氏から丹精込め育てた菊が届けられ、大輪の菊や懸崖菊が迎える喫茶コーナーで買い物を終えた皆さんが、もみじ饅頭を添えたコーヒを飲みながら和やかに歓談されていました。

初めての試みとして市社協に協賛し、フードドライブ(食料を必要とする人々に寄付するため食材を集める活動)コーナーと赤い羽根募金を共催しました。フードドライブのコンテナにはお米、乾物、粉もの、ジュースなどの食料品をたくさん提供していただきました。

皆様のご理解ご協力に感謝申し上げます。